

# 消費生活相談Q&A

在宅ワークのトラブルに巻き込まれないよう注意してください。



【事例1】  
インターネットでメールマガジンを作成する在宅ワークを見つけ、登録して業者の研修を受けた。すると、自分のホームページを立ち上げた方がよいと70万円の契約を持ち掛けてきた。「払えない」と言うと「カード会社から借金をするように」と言われ、借入れをして支払った。更にホームページを充実させるために「カードローンから150万円借りて支払え」と電話が入り、「もう払えない」というと「個人情報ばらさす」と脅してきた。どうしたらよいか。

【事例2】  
インターネットで在宅ワークを検索し、「在宅コールスタッフ募集」の会社を見つけ、応募して採用となった。大手電話会社から提供されたという顧客リストを使ってマニュアル通りに電話を掛け、そのパンフレットを送るというものだった。電話を掛ける際には必ず番号非通知にし、相手が一人暮らしと分かっていた時は報告することを指示されていた。しかし、その後、会社とは連絡がつかなくなり、賃金が支払われていない。大手電話会社に問い合わせると、その会社とは無関係とのこと。どうやら騙されたみたいだ。もしかすると一人暮らしのかたを狙った悪質商法に加担してしまったのかもしれない。

在宅ワークに就く条件として、高額な登録料、講習料、教材費の支払いを要求されたり、その支払いのために借金させられるような消費者トラブルが増えています。

## 【消費者へのアドバイス】

- ①「誰にでもできる」「簡単に収入が得られる」といった甘い言葉に注意しましょう。
- ②在宅ワークを始める時は、厚生労働省ホームページ掲載の「在宅ワークの適正な実施のためのガイドライン」などを参照しましょう。
- ③登録料、講習料、教材費などの名目でお金を支払った場合は、クーリング・オフが可能なき場合があります。
- ④在宅ワークだと思っていたら自分が悪質商法に加担してしまうことになりかねません。仕事を始める際に高額の負担を要求されたら、怪しいと思い、一旦冷静になりましょう。

こうしたトラブルに遭った場合や、「怪しげなビジネスに手を出したかも」と疑問を持ったときには、お近くの消費生活センターなどに相談してください。

■困ったときの相談窓口は：  
消費者ホットライン  
☎188（188泣き寝入り）と覚えてください。  
消費生活支援センター熊谷  
☎048・524・0999  
役場『消費者相談窓口』  
☎76・5133（農林商工課内）

# ほのぼの だいきん 最前線

地域のホットな話題をお寄せください

## 大澤明彦さんがワインの騎士(ナイト)に！ コンフレリー・デ・シュヴァリエ・デュ・タートヴァン叙任



美里町出身の医師でワインエデュケーターの大澤明彦さん（長野県在住）が、コンフレリー・デ・シュヴァリエ・デュ・タートヴァンの叙任を受けました。

コンフレリー・デ・シュヴァリエ・デュ・タートヴァンとは、「ワイン好き酒杯の騎士団」を意味し、フランスで最も格式高いワインの普及推進団体です。

大澤さんは、その団体から「騎士」の称号を授けられました。「騎士」とは、勲章としての位置づけで、何かを極めた人に与えられる称号です。

「この称号は自分の力だけではもらうことができず、今までの多くの人との関わりの中から達成できたことです。この称号を得たことが、これからワイン学を志す若者の道しるべになればと願ってやみません。いずれは故郷の美里町に戻りたいです。」と話してくれました。

## 美里中学校にサクスを寄贈 ふるさとホーム美里

2月21日、ふるさとホーム美里から町へサクスを寄贈していただきました。

遺跡の森館で、落合施設長から南教育長へ手渡されました。



いただいたサクスは、美里中学校吹奏楽部のために活用させていただきます。

## 千羽鶴の花束をいただきました 美里町折り紙クラブ



2月6日、美里町折り紙クラブから、千羽鶴の花束をいただきました。

この作品は、花1本が100羽の鶴（花…48羽、がく…8羽、葉…44羽）で作られていて、10本の花束で千羽鶴になっています。

「美里町の皆さんの健康と幸せを千羽鶴の花に託しました。」と話してくれました。

なお、作品は、役場総合政策課の窓口で展示しています。ぜひご覧ください。

## 美里中学校技術部が、みさとウオーキングイベントに参加しました



2月19日、美里中学校技術部が、地域とのつながりを深めるため、みさとウオーキングイベントに参加しました。

参加した生徒は、「美里の歴史の深さや景色の美しさに魅了され感動しました。部活動をとおして、地域の伝統や自然の良さから生み出せる作品作りに挑戦したいです。美里の美しい自然を描いたり、美里のすばらしさを伝えられるような作品を作れたら嬉しいです。」と話してくれました。

## ワンポイント 手話講座 169

～お菓子～  
指先をつまんだ右手で  
食べるしぐさをする



（出典：わたしたちの手話 /（一財）全日本ろうあ連盟発行）

## みさと 文芸

俳句と短歌を募集中！毎月5日まで  
に総合政策課へお届けください

俳句  
仰ぎ見る河津桜や空の青  
大沢 公子

短歌  
立春に小さな命頂いて  
草餅作り先祖に供えん  
清水ミヨ子  
青くつめたい風のあしたは歩むべし  
ウオーキングシューズ新しくして  
設楽 芳江

若い頃天神様と言ったのに  
老いし今では天満宮と  
須賀 茂子  
受かったよ声が変わりし一声を  
待った一日の酒のうまさよ  
原 武久  
日が経ちて味の落ちたる果物が  
「人手間」加え主役となりし  
飯島美智子  
やぶ土手のフキのつぼみほころびて  
春のおとすれゆきつもどりつ  
長滝 てつ  
店頭で早並びたるジャガ芋の  
種に感じる春の訪れ  
小林カツ子

早春の京の都に降る雪や  
比叡おろしは底冷え感ず  
福島恵美子  
床の間に飾りし破魔弓興味なく  
廊下走りて戯る曾孫  
堀内 英子  
ろうばいの香りに包まれ眺めやる  
武甲の山よ秩父の街よ  
原田 淳子  
裾ひろし匂うが如くエメラルド  
さざなみ誘う沼津冬富士  
有馬 康博  
寄居駅見知らぬ人と列車待つ  
昔話に時間は過ぎ行く  
有馬 千代  
紅や白慎ましかに覆郁と  
凜と梅花は胸を張りおり  
丸山 好子

俳句・短歌の投稿には、住所・氏名・連絡先・ふりがな等を必ず明記してください。